▼ゲンボイヤ配合錠　［内］

【重要度】【一般製剤名】エルビテグラビル／コビシスタット／エムトリシタビン／テノホビル アラフェナミドフマル酸塩　Elvitegravir／Cobicistat／Emtricitabine／Tenofovir Alafenamide Fumarate　【分類】抗 HIV 薬

【単位】▼配合錠

【常用量】1 回 1 錠，1 日 1 回食後

【用法】

【透析患者への投与方法】禁忌（1）

【保存期 CKD 患者への投与方法】Ccr 30mL/min 以上であることを確認して使用し，Ccr 30mL/min を下回れば使用しない（1）

【特徴】インテグラーゼ阻害薬であるエルビテグラビル，薬物動態学的増強因子（ブースター）のコビシスタット，シチジン誘導体のヌクレオシド系逆転写酵素阻害薬であるエムトリシタビン，アデノシン誘導体のヌクレオチド系逆転写酵素阻害薬であるテノホビルアラフェナミドフマル酸塩の配合錠.

【主な副作用･毒性】

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】エルビテグラビルは CYP3A で代謝され，CYP2C9 に対する弱い誘導作用を有する（1）コビシスタットは CYP3A 及び一部が CYP2D6 で代謝され，CYP3A 及び CYP2D6 を阻害する．OCT2 の基質であり，P-gp，BCRP，OATP1B1 及び OATP1B3 を阻害する（1）テノホビルアラフェナミドはカテプシン A，CYP3A 及び P-gp の基質（1）

【排泄】テノホビル及びエムトリシタビンは糸球体ろ過と能動的な尿細管分泌により腎排泄される（1）コビシスタットは OCT2 の基質（1）

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】

【透析性】

【O/W 係数】

【相互作用】コビシスタットは CYP3A の選択的阻害薬であるため基質薬物との併用に注意（1）CYP3A4 の誘導剤併用によりエルビテグラビル及びコビシスタットの血中濃度が著しく低下する（1）シンバスタチン併用時の横紋筋融解症（Godinho R, et al: BMC Nephrol 2019 PMID: 30808332）

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20241012

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。